

図書コンシェルジュ

各務原市立中央図書館

特別号No.2

令和2年7月15日

With 本。

毎日、蒸し暑いですね。3密を避ける、マスク着用、手洗いなど、新しい生活様式を実践されているでしょう。

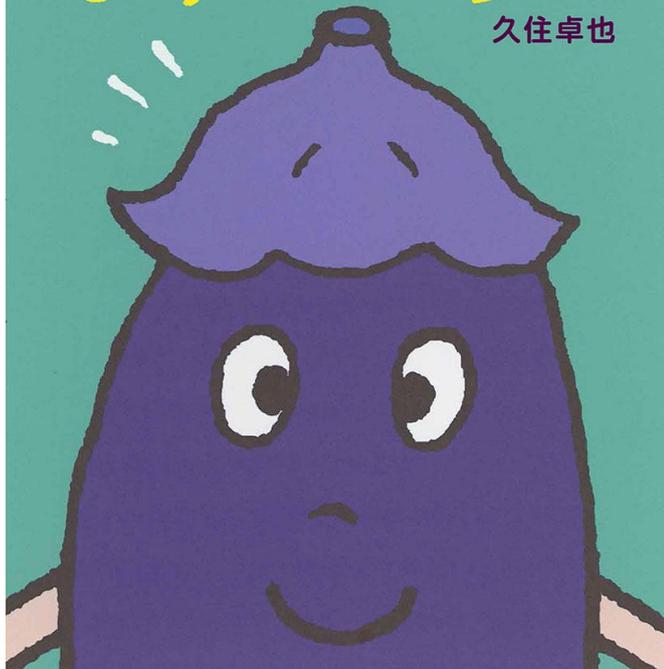
今回も図書コンシェルジュたちは、日常生活に楽しみを増やすための本を紹介します。ぜひ、ご覧ください。

〈おすすめの本たち〉

No.	ジャンル	書籍名	著者等	出版社	請求記号
1	絵本	なすのぼうや	久住 卓也/作・絵	ポプラ社	E/ナ
2	絵本	たんぼレストラン	はやしますみ/作・絵	ひかりのくに	E/タ
3	絵本	こんなおみせ しってる？	藤原 マキ/作	福音館書店	E/コ
4	児童書	戦場の秘密図書館 ～シリアに残された希望～	マイク・トムソン/著 小国 綾子/訳	文溪堂	010/ト
5	児童書	おしごと年鑑	谷 和樹/監修 朝日新聞社/編	朝日新聞社	366/オ
6	一般書 (文学)	思わず考えちゃう	ヨシタケシンスケ/著	新潮社	914/ヨ
7	一般書 (文学)	クスノキの番人	東野 圭吾/著	実業之日本社	913/ヒ
8	一般書 (文学以外)	なんとかする工作	青木 亮作/著	玄光社	750/ア
9	一般書 (文学以外)	企画展だけじゃもったいない日本の美術館めぐり	浦島 茂世/著	G. B.	706/ウ
10	一般書 (文学以外)	国境のない生き方 —私をつくった本と旅—	ヤマザキマリ/著	小学館	726/ヤ

なすのぼうや

久住卓也



「なすのぼうや」

久住 卓也/作・絵 ポプラ社

絵本 E/ナ

なすのぼうやは、いつもかぶっているむらさき色のぼうしがお気に入り。ある日、やさい畑の砂場で遊んでいると、いたずらな風が吹いてきて、ぼうやのぼうしをヒューッとどこかへ飛ばしてしまいました。さあ、大変！あちこち探しましたが見つかりません。そこへ、とまとおねえさんがやってきて自分のぼうしを貸してくれます。その後もいろんなやさいさんたちが自分のぼうしを貸してくれるのですが…。

なすのぼうやに似合うぼうしは、あるのでしょうか。そして、お気に入りのむらさき色のぼうしは、見つかるのでしょうか。

可愛らしくて優しいなすのぼうやのぼうし探しを楽しんでください。

(対象 幼児から)



「たんぼレストラン」

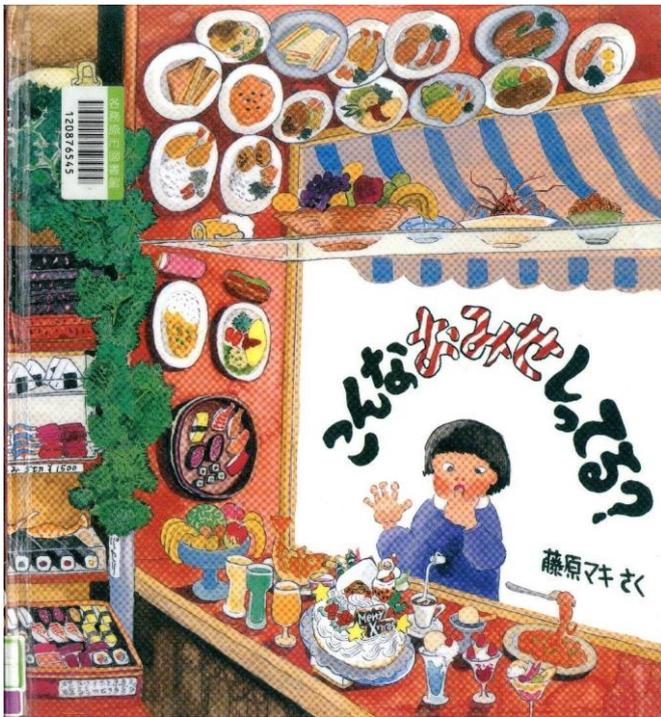
はやしすすみ/作・絵 ひかりのくに

絵本 E/タ

暖かい季節になると、お散歩やウォーキングが楽しみになります。近所のたんぼに水が入り、水面がキラキラ光る、とても美しい光景。どんな生き物がいるのかな。どんな世界が広がっているのかな。たくさんの生き物が住んでいるけど、外からも生き物がやってきて、いただきま〜す！そこはまるで自然のレストラン！

あらゆる生き物がたんぼを舞台に関わります。四季が変われば、生き物も変わり、稲がおおきくなれば、景色も変わります。壮大な生命のつながりを楽しく学べる一冊です。

(対象 幼児から)



「こんなおみせ してる？」

藤原 マキ/作 福音館書店

絵本 E/コ

まっしろなできたてのとうふがならんだおとうふやさん。色とりどりのあめをのばして、きんたろうあめをつくるあめやさん。ほんものとまちがえてしまうほどおいしそうな食べものがずらりとならぶサンプルやさん。

大きなスーパーやデパートができるまえの、すこしむかしの日本にはこんなのにぎやかなおみせがありました。なかにはフランケンシュタインや、なだたるモンスターのマスクを売る、ちょっとこわいおみせも登場します。どこをひらいても、どきどきわくわくするおみせにおでかけできる楽しい絵本です。

(対象 幼児から)



「戦場の秘密図書館 ~シリアに残された希望~」

マイク・トムソン/著 小国 綾子/訳 文溪堂

児童書 010/ト

私たちは、新型コロナウイルスの影響により、不自由な生活を強いられました。でも、そんな思いをした今だからこそ、自由って何なのかを少し思い描く事ができるのではないのでしょうか。世界中には、戦争で不自由な生活を強いられる人々が多くいます。シリアもその一つです。

シリアの都市ダラヤに本当にあった“秘密図書館”。人々は、不自由な生活の中で図書館を守りました。なぜ人々は、危険を冒して図書館を守ったのか。それは、図書館がいつかシリアを自由な国に変える“希望”だと考えたからです。“秘密図書館”を守った人々は、私たちに自由な心を持つことの大切さを教えてくれます。

(対象 小学校高学年から)



「おしごと年鑑」

谷 和樹/監修 朝日新聞社/編 朝日新聞社
児童書 366/オ

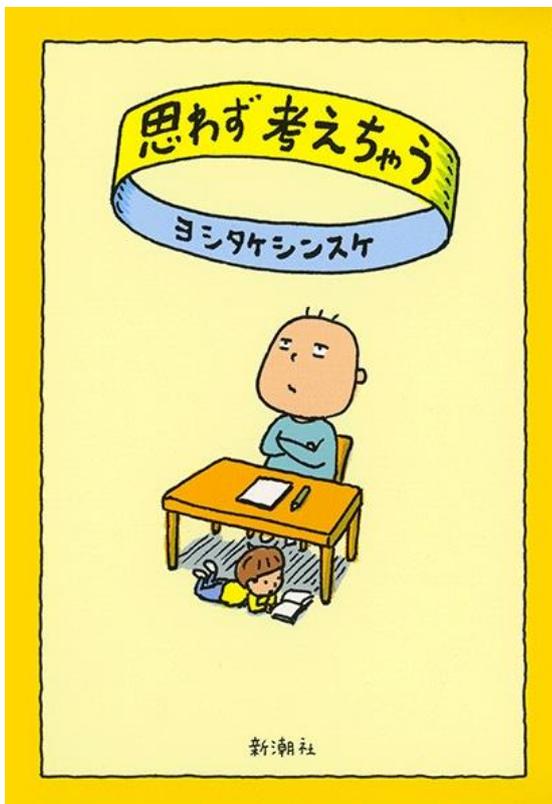
在宅ワークやリモートワークでご両親のお仕事が身近になっていませんか。

「おしごとってどんなもの。どんなおしごとがあって、どんなことをしているの。」と仕事というものになんとも興味をもっているお子さんも多いはず。

世の中には、たくさんの職業があります。社会を支えるさまざまな仕事や人々をイラスト・写真を多く使い、詳しくわかりやすく紹介！子どもの好奇心を呼び起こし、世の中を動かしているしくみを楽しく学べます。

「将来の自分を思い描いたり、こんな仕事もあるんだ！この仕事ってこんなことをしているんだ。」など発見とともに仕事について詳しく学べる楽しい一冊です。

(対象 小学校中学年から)



「思わず考えちゃう」

ヨシタケシンスケ/著 新潮社
一般書 (文学) 914/ヨ

大人気ヨシタケシンスケさんの本です。子供たちにも大人気の絵本作家さんで、今年の第2回「小学生が選ぶ“こどもの本”総選挙」でも2冊がベストテン入りしました。この『思わず考えちゃう』は、作者が日常何気なくスケッチしているものを1冊の本にまとめたものだそうです。作者の感性に共感したり、「へえ～！そんなこと考えるんだあ！」と、作者の精神構造を見る思いです。その中でも「父だから考えちゃう」の章では、親だからこんな思いあるなあと共感すること大です。ヨシタケさんの本は手元において時々読みたくなります。

(対象 一般)



「クスのノキの番人」

東野 圭吾/著 実業之日本社
一般書（文学） 913/ヒ

「その木に祈れば、願いが叶う」というクスのノキの番人を任された青年玲斗の物語です。

罪を犯し逮捕されてしまった玲斗の前に弁護士が現れ、伯母と名乗る千舟の依頼でクスのノキの番人になることを条件に玲斗を釈放させました。

夢のない人生を送ってきた玲斗が、クスのノキに助けを求め訪れる人々と関わることで、千舟の思いとクスのノキの持つ力を知ることにより、自分の人生を見つめ直し成長していく姿が描かれています。

（対象 一般）

なんとかする 工作

青木 亮作
(TENT・プロダクトデザイナー)



「なんとかする工作」

青木 亮作/著 玄光社
一般書 750/ア

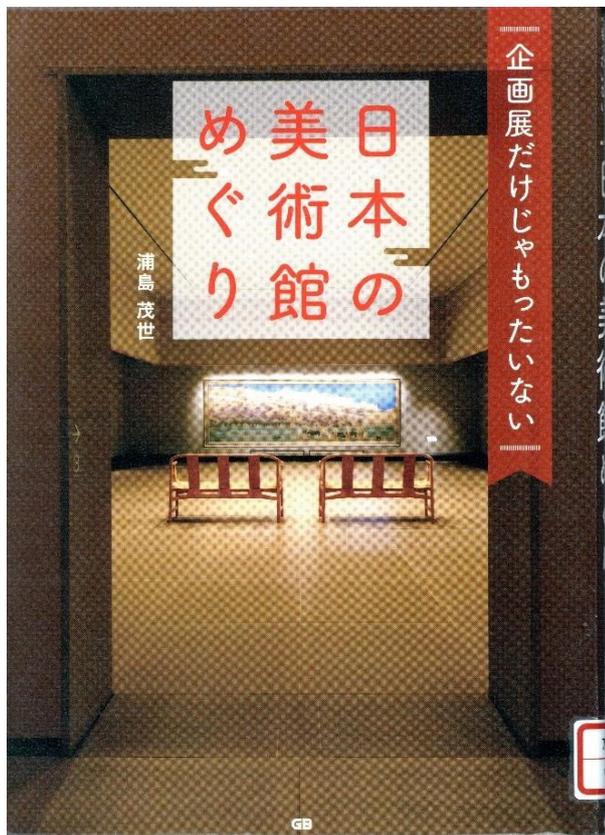
小さな子どもの「なんかつくって！」に応じて、なんとかした父親の工作本です。

著者の青木亮作さんはプロダクトデザイナーという職業で物作りをされています。その経験からこの本は、「子どもの要求→発注書」、「どう答えたか→ご提案」、「どんな反応だったか→報告書」、という形でまとめてあります。

クライアントが子どもなので、発注書の納期は“いますぐ”が多いです。その為、完成度がいまいちだったり改良の余地ありの作品もありますが、これならうちでも作れそうと思えるものばかりです。

お子さんとの工作にもオススメな1冊です。

（対象 一般）



「企画展だけじゃもったいない日本の美術館めぐり」

浦島 茂世/著 G.B.

一般書 706/ウ

安心して外出できない大変な世の中、外出できないことに少なからずストレスを感じている方も多いはず。今は難しいけれど、安全に外出できるようになったら行ってみたいところを、今からゆっくり探してみませんか。

美術館というと企画展が注目されがちですが、各美術館の所蔵品を展示する常設展も見どころ満載です。この作品はこの美術館の所蔵品だったんだ！と発見することも。

この本では、日本全国の美術館の特徴と所蔵品とともに紹介しています。旅先の美術館を調べて、お気に入りの美術館を旅行のプランに加えてみるのはいかがでしょうか？

(対象 一般)



「国境のない生き方 —私をつくった本と旅—」

ヤマザキマリ/著 小学館

一般書 726/ヤ

映画化された漫画「テルマエロマエ」の作者ヤマザキマリさんの読書遍歴と人生を綴った本です。

作者のお母様は、ヴィオラ奏者の傍ら、二人の娘を育てたシングルマザーです。子育ての支柱は、「大自然と旅そして書物が娘を育むための大切な要素」と考え、多くの本と旅を娘たちに与えました。

作者は、「作者の地球」を舞台に人生を振り返ります。欧州をひとりで旅したり、出産したり、シリアで暮らしたりしました。お母様の影響もあり、その岐路には、多くの本との出会い、本への共感、本に学び、本に導かれることがありました。この世界がどんなに広いか、生きることはどんなことか、あらゆる面で思考を重ねていきます。

その生き方を少しのぞき見ることは、あなたのこれから先の生き方にチョットしたスパイスになるのでは。

(対象 一般)